

令和4年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

「いきいきと やさしく ゆたかに たくましく つながる」こどもの育成

- ・いきいきと 学ぶ力(基礎・基本と問題解決学習)の充実
- ・やさしく 一人一人が大切にされる教育の推進
- ・ゆたかに 学習環境(生活規律・生活習慣)の育成と定着
- ・たくましく 集団づくり・体力づくりの推進
- ・つながる 学校間・関係諸機関・家庭・地域の連携推進

2 中期的目標

1 チームで歩む学校

ア.「TEAM 別府」と呼ぶのにふさわしい、積極的・意欲的で一体感のある学校集団を構築する。

- ・学年団や校務分掌から学校経営計画の実現に向けた改善策や新たな取り組みの提案を行い、タイムマネジメントを意識した業務の効率化をめざし、個々の多様性と強みを認め合い生かしながら主体的・協働的に働くことができる職場づくりを通じてチーム力を高める。
- ・ICT活用により、全ての教職員がスムーズに情報を共有し、専門性を生かして連携することにより早期に適切な対応を実行できる学校をつくる。

(評価指標)

◆学校教育自己診断アンケート 教職員の「学校運営」に関する質問項目(新設)の肯定的回答が80%以上を目指す。
「タイムマネジメントを意識した業務の効率化が行えたと実感している」
「教職員間で個々の多様性と強みを認め合い生かしながら主体的・協働的にはたらくことができた」と実感している」
「ICT活用により、全ての教職員に情報の共有化がスムーズに行われたと実感している」など。

イ. 全学年で教科を横断したカリキュラムマネジメントを行い、人権教育の視点で教育活動をデザインする。

- ・人権教育を基盤とした学校・学級づくりを行う。
- ・人権教育と道徳教育を関連させるなどした、効果的なカリキュラムの実施を行う。
- ・インクルーシブ教育環境の構築を行う。
- ・専科指導や小中連携指導等の専門性を生かした教科指導の充実を図る。
- ・学校運営に児童が参画し自ら主体的に活動を創造・実践できる場を、児童会を中心に設定する。

(評価指標)

◆学校教育自己診断アンケート 教職員の「学校運営」に関する質問項目(新設)の肯定的回答が80%以上を目指す。
「人権教育をあらゆる教育活動の基盤に位置付けることができた」
「計画的・効果的なカリキュラムマネジメントを行うことができた」
「インクルーシブ教育の必要性や有効性を理解し、環境整備に取り組めた」
「専門性を生かした教科指導の充実を図ることができた」
「学校運営に児童が自ら参画し主体的に活動を行える場を設定・提供ができた」など。

2 豊かな学びのある学校

ア.「主体的・対話的で深い学び」のある授業の創造と実践を行い、授業改善に取り組む。

- ・全教科において、ICTを活用した「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業に取り組み、主体的な学び手としての児童の育成を図る。
- ・年間を通じて研究授業を設定し、市内外へ広く発信する。

(評価指標)

◆学校教育自己診断アンケート 児童の「授業や学習」に関する質問項目(新設)の肯定的回答が80%以上を目指す。
「学校での授業は楽しい」
「授業の中で自分の考えをまとめたり、発表することがある」
「クラスの人たちとおたがいに意見を述べたり聞いたりすることから、新しい考えやアイデアが頭に浮かぶ」
「iPadなどを使って、他の人に自分の考えや意見を伝えることをしている」
「先生たちは、教え方を工夫していると思う」など。

イ. 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着をめざし、授業改善に取り組む。

- ・「MIM」「べっふっこタイム」「パワーアップタイム」等の取り組みにより、個に応じた補習を行う。
- ・「個別最適な学び」を実現するため、iPadアプリを活用した家庭学習の充実を図る。

(評価指標)

- ◆学校教育自己診断アンケート 児童の「授業や学習」に関わる質問項目(新設)の肯定的回答が80%以上を目指す。
「学校での授業はわかりやすい」
「授業で学んだことがしっかりと理解できている」
「家庭学習に1時間以上取り組んでいる」
「自分の苦手な学習を知っていて、どのように家庭学習に取り組んでいけばよいのかを知っている」など。
- ◆市学力定着度調査における平均正答率を前年度よりも向上させる。

ウ. キャリア教育を充実させ、将来に夢と希望を描くことができる連続した学びをつくる。

- ・「地域学習」を軸としたキャリア教育のカリキュラムを全校的に作成し、学習活動を創造・実践する。

(評価指標)

- ◆学校教育自己診断アンケート 児童の「キャリア教育」に関わる質問項目(新設)の肯定的回答が80%以上を目指す。
「将来の夢や希望を持っている」
「自分が暮らす地域の良さや課題を知り、自分が取り組めることを考えられる」
「学校や家庭、地域の中で、自らあいさつをするなどのコミュニケーションができています」など。
- ◆学校教育自己診断アンケート 保護者の「キャリア教育」に関わる質問項目(新設)の肯定的回答が80%以上を目指す。
「子どもたちは将来の夢や希望を持っている」
「子どもたちは自分が暮らす地域の良さや課題を知り、自分が取り組めることを考えられる」
「子どもたちは学校や家庭、地域の中で、自らあいさつをするなどのコミュニケーションができています」など
「学校は子どもたちに夢や希望を育む教育活動を行っている」
「学校は子どもたちが自ら暮らす地域の良さや課題を知り、自分が取り組めることを考えられるような教育活動を行っている」
「学校は子どもたちにあいさつやコミュニケーションの大切さを教えています」など。

エ. 教育のユニバーサルデザイン化を図る。

- ・「授業」「人的環境」「教室環境」の3つの側面からのユニバーサルデザイン化を図り、障害のあるなしに関わらず、より多くの子どもたちにとってわかりやすく、学びやすい教育環境整備を行う。

(評価指標)

- ◆学校教育自己診断アンケート 児童の「学習環境」に関わる質問項目(新設)の肯定的回答が80%以上を目指す。
「教室はきれいに整理・整頓され落ち着いた環境である」
「授業に参加しやすい雰囲気である」
「クラスの他の人たちは、あなたが意見や考えを発表したときにしっかりと聞いてくれる」など。

3 つながりをつくる学校

ア. 保護者や地域の願いを汲み取った、社会に開かれた学校づくりを推進する。

- ・学校協議会を充実させ、別府小学校と地域が抱える課題解決に向けて共に協議・協力・協働できる場とする。
- ・学校・保護者・地域との連携の基点となりうる PTA の再構築を行う。
- ・学校教育自己診断と学校関係者評価をもとに、学校経営計画を改善していく教職員全員による PDCA サイクルを確立する。

(評価指標)

- ◆学校教育自己診断アンケート 教職員・保護者の「地域・保護者連携」「発信」に関わる質問項目(新設)の肯定的回答が80%以上を目指す。
「学校から保護者・地域に対して双方性のある情報が発信され、社会に開かれた学校づくりができています」
「学校・保護者・地域が協力・連携して、こどもの学力向上と健やかな成長の促進が行われている」
「学校教育自己診断アンケートの結果などをもとに、次年度の学校づくりの改善が行われている」など。

イ. 児童の連続した成長・学びを実現できるよう、中学校区の「保幼小中連携」の在り方を再構築する。

- ・保幼小におけるスタートカリキュラムの共有など指導方法の情報共有の場を定期的に設定し、共にできる取り組みを策定する。
- ・ICT・オンライン技術を活用した四中校区の学校行事の共同実施や参加、出前授業、定期的な担当者会議の開催などを行い、児童生徒や教職員が互いに知り合うことで、小中のカリキュラムの円滑な接続と相互理解をいっそう深める。
- ・外部諸機関との連携を強化し、人材を活用しながら校区の課題に対応した有効的な取り組みを行うことで、低年齢児からの問題行動未然防止に努める。

(評価指標)

- ◆学校教育自己診断アンケート 教職員の「外部との協力・連携」に関わる質問項目(新設)の肯定的回答が80%以上を目指す。
「校区の保育園・幼稚園と指導方法などの情報共有の場を設定し、取り組みや指導の改善に役立てている」
「校区の小学校・中学校と連携・協力し、学校行事の共同実施など多様な方法で子どもたちを育てることができている」
「外部関係機関と連携・協力し、人材を生かすなど多様な方法で子どもたちを育てることができている」など。
- ◆定期的・計画的に校区の学校へ赴き、授業や行事に関する担当者会議を行う。

学校教育自己診断の結果と分析(令和 年 月実施分)	学校協議会からの意見

3 今年度の重点目標と具体的な教育活動

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な教育活動	評価指標	自己評価
<p>チー ムで 歩む 学校</p>	○ 人権感覚あふれた別府小学校	・ベふっ子人権教育カリキュラムを全学年で実施するなど、人権教育を基盤とした学校づくり・学級づくりを行う。	・学校教育自己診断アンケート 「学校運営」に関する項目の肯定的回答の割合が80%を超える。	
	○ 主体的な学び手を育む別府小学校	・全学年で教科を横断したカリキュラムマネジメントの実施を行い、連続性のある学びを創造する。 ・児童会活動を中心としたこどもの主体的な学校運営への参画・情報発信を大切にし、だれもが居場所のある安全・安心な学校づくりをめざす。	・摂津市児童意識調査の肯定的回答『強い肯定』の割合の向上。	
	○ 持続可能な別府小学校	・先進校や他校に取り組みを学び、本校の学校改革に生かす。 ・生徒指導対応、保護者対応、文書作成、情報発信等の基本スキルを身に付けるための教職員研修を計画的・継続的に実施する。 ・ミドルリーダーを中心に、各教職員のニーズにあった自主研修や課題別研修会を設け、「自ら成長し、持続可能な教職員集団」をめざす。 ・授業の相互参観を計画的・継続的に行い、こどもに付けたい力を発信・共有することで、チームの質と力を高める。 ・教職員間の「ヨコのつながり」を強めることを追求し心理的安全性の向上を図る。 ・Google ワークスペースはじめとしたクラウド・ネットワーク技術を活用し、タイムマネジメントとワークライフバランスを意識した業務の効率化に努める。		

<p>豊かな学びのある学校</p>	<p>○Society5.0時代に求められる力の育成</p> <p>○ICT教育の推進と発信</p> <p>○キャリア教育の充実</p> <p>○教育のユニバーサルデザイン化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年・全教科においてICTを活用した「主体的・対話的で深い学び」「協働的な学び」のある授業の創造を行い、児童が主体的に学ぶ力を育成する。 ・ICT教育を推進し広く学校外に発信する。 ・低学年児童を対象の中心にMIM・コグトレを実施し、確実な読解力の育成を図る。 ・iPadアプリ活用による個に応じた学習課題を設定した家庭学習の充実に取り組む。 ・キャリア教育の充実を図り、「地域学習」をテーマとする活動を創造し展開する。 ・「授業」「人的環境」「教室環境」の観点から教育のユニバーサル化を図り、わかりやすい授業と学びやすい環境をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育自己診断アンケート 「授業や学習」「キャリア教育」「学習環境」に関する項目の肯定的回答の割合が80%を超える。 ・摂津市児童意識調査の肯定的回答『強い肯定』の割合の向上。 ・摂津市学力定着度調査の正答率の向上 	
<p>つながりをつくる学校</p>	<p>○社会に開かれた学校づくり</p> <p>○保幼小中連携の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・地域の課題解決に向けて共に取り組むことができるよう、学校協議会の充実を図る。 ・学校・地域との連携の拠点となりうるPTAの再構築をめざす。 ・スタートカリキュラムの共有をはじめとする、保育園・幼稚園との情報交換の場を設定し、連携を推進する。 ・中学校区小中学校との連携のさらなる活発化。 ・学校・保護者・地域のポータルサイトとなることをめざして、学校ホームページの再構築と充実を図り、学校外への発信に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育自己診断アンケート 「地域・保護者連携」「外部との協力・連携」「発信」に関わる項目の肯定的回答の割合が80%を超える。 	